



平成23年11月17日

各位

株式会社T&Dホールディングス  
 (コード番号 8795 東証・大証第一部)  
 太陽生命保険株式会社  
 大同生命保険株式会社  
 T&Dフィナンシャル生命保険株式会社

### 平成24年3月期第2四半期(中間)決算のお知らせ

T&D保険グループ(T&Dホールディングス、太陽生命、大同生命、T&Dフィナンシャル生命)の平成24年3月期第2四半期(平成23年4月1日～平成23年9月30日)の決算について、以下のとおりお知らせいたします。

#### 契約業績(生命保険会社3社合算：個人保険・個人年金保険)

- 新契約高は、3兆612億円、前年同期から8.1%の減少、
- 解約失効高は、2兆1,557億円、前年同期から7.0%の減少、
- 保有契約高は、58兆606億円、前年度末からほぼ横ばいとなりました。

#### 損益関係(T&Dホールディングス連結)

- 経常収益は、1兆738億円、前年同期から0.5%の減少、  
うち保険料等収入は、7,377億円、前年同期から1.0%の増加となりました。
- 経常利益は、705億円、前年同期から10.5%の増加となりました。
- 中間純利益は、287億円、前年同期から29.1%の増加となりました。

#### 通期業績予想(T&Dホールディングス連結)

- 通期業績予想の修正はありません。

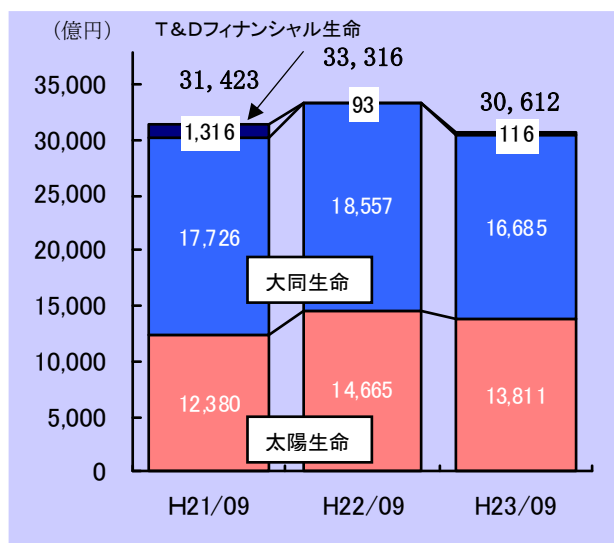
以上

#### 【お問合せ先】

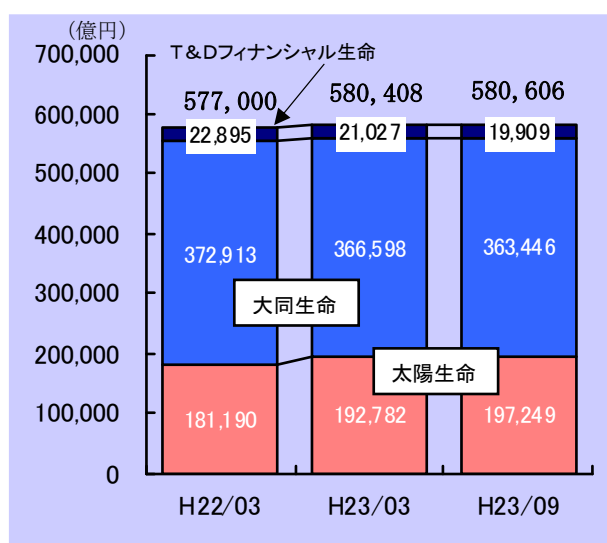
株式会社T&Dホールディングス	広報部	松尾	TEL 03-3434-9181
太陽生命保険株式会社	広報課	家徳	TEL 03-3434-5257
大同生命保険株式会社	広報課	前田	TEL 03-3434-9190
T&Dフィナンシャル生命保険株式会社	広報課	進藤	TEL 03-3434-8840

[契約業績（個人保険・個人年金保険）]

○新契約高の推移（3社単純合算）



○保有契約高の推移（3社単純合算）



(単位：億円)

	3社単純合算		太陽生命		大同生命		T&Dフィナンシャル生命	
	当第2四半期累計	前年同期比	当第2四半期累計	前年同期比	当第2四半期累計	前年同期比	当第2四半期累計	前年同期比
新契約高	30,612	2,703 減 (8.1%減)	13,811	854 減 (5.8%減)	16,685	1,871 減 (10.1%減)	116	22 増 (23.6%増)
解約失効高 (解約失効率)	21,557	1,619 減 (7.0%減)	5,936	404 増 (7.3%増)	15,211	1,905 減 (11.1%減)	410	118 減 (22.5%減)
			(3.08%)	(0.03ポイント上昇)	(4.15%)	(0.44ポイント低下)	(1.95%)	(0.36ポイント低下)
新契約年換算保険料	516	21 減 (3.9%減)	209	14 増 (7.2%増)	300	35 減 (10.4%減)	6	0 増 (0.3%増)
うち医療保障・ 生前給付保障等	67	18 増 (37.9%増)	33	3 減 (8.6%減)	34	21 増 (174.4%増)	0	0 増 (—)

(注) 1. 新契約高には転換による純増加高を含んでおります。  
2. 解約失効率は、年換算しておりません。

(単位：億円)

	3社単純合算		太陽生命		大同生命		T&Dフィナンシャル生命	
	当第2四半期末	前年度末 比較増減	当第2四半期末	前年度末 比較増減	当第2四半期末	前年度末 比較増減	当第2四半期末	前年度末 比較増減
保有契約高	580,606	198 増 (0.0%増)	197,249	4,467 増 (2.3%増)	363,446	3,151 減 (0.9%減)	19,909	1,117 減 (5.3%減)
保有契約年換算保険料	13,851	121 減 (0.9%減)	5,906	47 減 (0.8%減)	6,213	41 減 (0.7%減)	1,731	32 減 (1.8%減)
うち医療保障・ 生前給付保障等	1,618	7 減 (0.5%減)	1,066	16 減 (1.5%減)	508	10 増 (2.1%増)	43	1 減 (4.4%減)

■ 3社単純合算

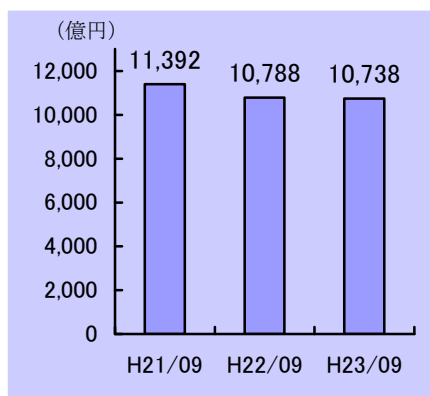
- ・新契約高は、3兆612億円、前年同期から8.1%の減少。  
これは主に、太陽生命と大同生命で減少したため。
- ・解約失効高は、2兆1,557億円、前年同期から7.0%の減少。  
これは主に、大同生命で減少したため。
- ・保有契約高は、前年度末からほぼ横ばいの58兆606億円。

■ 各社の状況

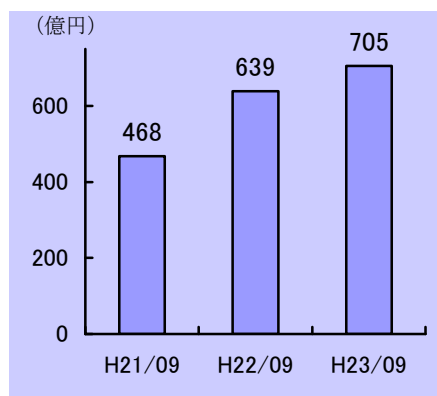
- ・太陽生命の新契約高は、1兆3,811億円、前年同期から5.8%の減少。  
なお、第1四半期(4～6月)の新契約高は前年同期から8.1%の減少であったが、第2四半期(7～9月)は同0.2%の減少とほぼ前年並みとなっている。
- ・大同生命の新契約高は、1兆6,685億円、前年同期から10.1%の減少。  
なお、主力の個人定期保険の新契約高に、主力商品の一つとして昨年10月に発売した「無配当重大疾病保障保険(Jタイプ)」の重大疾病保険金額を加算した金額でみた場合、1兆7,318億円、前年同期から2.9%の減少。  
※「Jタイプ」には普通死亡の保障がないため、新契約高には計上していません。
- ・T&Dフィナンシャル生命の新契約高は、116億円、前年同期から23.6%の増加。

[損益関係]

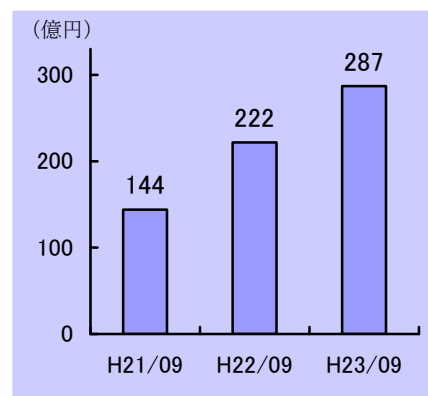
○経常収益（連結）



○経常利益（連結）



○中間純利益（連結）



(単位：億円)

	T&Dホールディングス連結		太陽生命		大同生命		T&Dフィナンシャル生命	
	当第2四半期累計	前年同期比	当第2四半期累計	前年同期比	当第2四半期累計	前年同期比	当第2四半期累計	前年同期比
経常収益	10,738	50 減 (0.5%減)	4,659	75 減 (1.6%減)	5,116	9 増 (0.2%増)	871	45 増 (5.5%増)
うち保険料等収入	7,377	75 増 (1.0%増)	3,593	72 増 (2.1%増)	3,589	9 減 (0.3%減)	190	10 増 (5.9%増)
うち資産運用収益	1,702	21 減 (1.3%減)	866	25 増 (3.0%増)	709	9 減 (1.3%減)	158	26 減 (14.5%減)
うちその他経常収益	1,658	104 減 (5.9%減)	199	174 減 (46.5%減)	817	28 増 (3.6%増)	521	61 増 (13.3%増)
経常費用	10,032	117 減 (1.2%減)	4,314	115 減 (2.6%減)	4,696	64 減 (1.4%減)	940	87 増 (10.3%増)
うち保険金等支払金	7,852	127 減 (1.6%減)	3,533	148 減 (4.0%減)	3,816	50 減 (1.3%減)	501	70 増 (16.3%増)
うち資産運用費用	817	6 増 (0.8%増)	168	19 増 (13.4%増)	278	25 減 (8.3%減)	394	26 増 (7.2%増)
経常利益（△損失）	705	66 増 (10.5%増)	345	40 増 (13.1%増)	420	73 増 (21.3%増)	△69	42 減 (157.6%増)
特別利益	0	6 減 (93.0%減)	—	0 減 (100.0%減)	0	1 減 (92.3%減)	—	0 減 (100.0%減)
特別損失	138	2 減 (2.0%減)	73	2 増 (3.9%増)	60	2 減 (4.6%減)	2	2 増 (977.1%増)
契約者配当準備金繰入額 （△戻入額）	146	10 増 (8.0%増)	79	6 増 (9.4%増)	66	3 増 (6.3%増)	△0	0 減 (3.0%増)
税引前中間純利益 （△損失）	421	52 増 (14.1%増)	191	29 増 (18.2%増)	292	70 増 (32.0%増)	△72	45 減 (166.0%増)
法人税等合計	133	12 減 (8.8%減)	46	0 減 (1.3%減)	102	3 増 (3.6%増)	△21	14 減 (204.6%増)
中間純利益（△損失）	287	64 増 (29.1%増)	144	30 増 (26.3%増)	190	67 増 (54.9%増)	△50	30 減 (152.4%増)

(参考)

資産運用関係収支 （一般勘定）	1,285	16 減 (1.3%減)	697	2 増 (0.4%増)	443	7 増 (1.7%増)	152	29 減 (16.3%減)
--------------------	-------	-----------------	-----	----------------	-----	----------------	-----	------------------

- (注) 1. T&Dホールディングス連結の数値については、生命保険会社3社の単純合算とは必ずしも一致いたしません。  
 2. 保険料等収入の3社単純合算は7,373億円（前年同期比1.0%増）です。  
 3. 資産運用関係収支（一般勘定）は、一般勘定に関する資産運用収益から一般勘定に関する資産運用費用を差し引いたものです。

■ T&Dホールディングス連結

- ・ **経常収益**は、1兆738億円、前年同期から50億円の減少。
- ・ **経常利益**は、705億円、前年同期から66億円の増加。  
これは主に、東日本大震災に係る支払見積額が減少したこと、および利息及び配当金等収入が増加したため。
- ・ **中間純利益**は、287億円、前年同期から64億円の増加。

■ 太陽生命の状況

- ・ **経常収益**は、4,659億円、前年同期から1.6%の減少。
- ・ **保険料等収入**は、3,593億円、前年同期から2.1%の増加。  
これは主に、個人保険・個人年金保険の収入保険料が増加したため。
- ・ **経常利益**は、345億円、前年同期から13.1%の増加。  
これは主に、利息及び配当金等収入が増加したこと、および東日本大震災に係る支払見積額が減少したため。
- ・ **中間純利益**は、144億円、前年同期から26.3%の増加。  
なお、価格変動準備金に70億円の繰入を実施（うち60億円は超過繰入）。

■ 大同生命の状況

- ・ **経常収益**は、5,116億円、前年同期から0.2%の増加。
- ・ **保険料等収入**は、3,589億円、前年同期から0.3%の減少。  
これは主に、個人保険の収入保険料は増加したものの、団体年金保険で減少したため。
- ・ **経常利益**は、420億円と前年同期から21.3%の増加。  
これは主に、東日本大震災に係る支払見積額が減少したこと、および利息及び配当金等収入が増加したため。
- ・ **中間純利益**は、190億円、前年同期から54.9%の増加。  
なお、価格変動準備金に54億円の繰入を実施（うち45億円は超過繰入）。

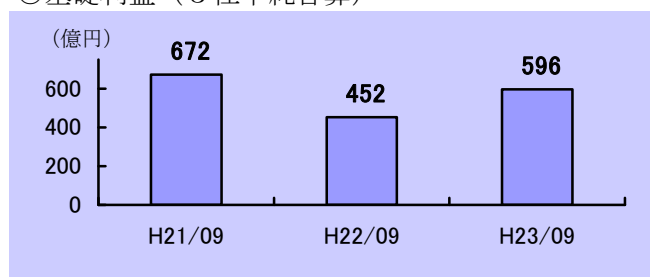
■ T&Dフィナンシャル生命の状況

- ・ **経常収益**は、871億円、前年同期から5.5%の増加。
- ・ **保険料等収入**は、190億円、前年同期から5.9%の増加。
- ・ **経常利益（△損失）**は、△69億円、前年同期から157.6%の悪化。  
これは主に、相場変動に伴い変額個人年金保険の最低保証責任準備金の繰入額が増加したことや、変額個人年金保険の最低保証リスクに係るヘッジ益（金銭の信託運用益）が減少したため。
- ・ **中間純利益（△損失）**は、△50億円、前年同期から152.4%の悪化。

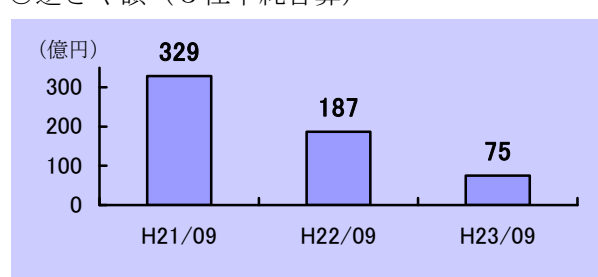
## [その他の指標等]

### <基礎利益と逆ざや>

#### ○基礎利益（3社単純合算）



#### ○逆ざや額（3社単純合算）



(単位：億円)

	3社単純合算		太陽生命		大同生命		T&Dフィナンシャル生命	
	当第2四半期累計	前年同期比	当第2四半期累計	前年同期比	当第2四半期累計	前年同期比	当第2四半期累計	前年同期比
基礎利益	596	144 増 (31.8%増)	301	64 増 (27.0%増)	451	92 増 (25.9%増)	△156	13 減 (9.1%増)
逆ざや額	75	112 減	28	39 減	32	71 減	14	1 減

#### ■ 3社単純合算

- ・ **基礎利益**は、596億円、前年同期から144億円の増加。これは主に、太陽生命と大同生命で増加したため。

#### ■ 各社の状況

- ・ **太陽生命の基礎利益**は、301億円、前年同期から64億円の増加。  
**逆ざや額**は、28億円、前年同期から39億円の改善。これは主に、利息及び配当金等収入の増加などの基礎利益上の運用収支が増加したこと、および予定利息負担が減少したため。
- ・ **大同生命の基礎利益**は、451億円、前年同期から92億円の増加。  
**逆ざや額**は、32億円、前年同期から71億円の改善。これは主に、利息及び配当金等収入の増加などの基礎利益上の運用収支が増加したこと、および予定利息負担が減少したため。
- ・ **T&Dフィナンシャル生命の基礎利益**は、△156億円、前年同期から13億円の悪化。これは主に、相場変動に伴い変額個人年金保険の最低保証責任準備金の繰入額が増加したため。  
**逆ざや額**は、14億円と前年同期並み。

### <ソルベンシー・マージン比率>

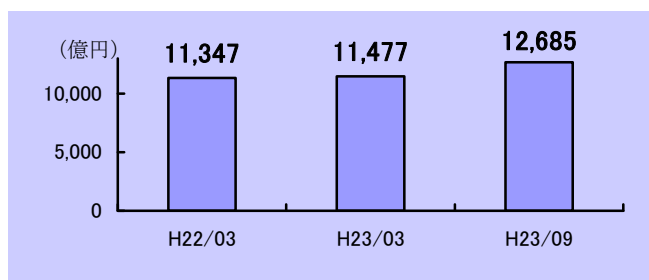
	太陽生命		大同生命		T&Dフィナンシャル生命	
	当第2四半期末	前年度末 比較増減	当第2四半期末	前年度末 比較増減	当第2四半期末	前年度末 比較増減
ソルベンシー・マージン比率	1,243.0%	13.3ポイント上昇	1,303.3%	66.1ポイント上昇	571.5%	39.7ポイント低下
(参考)新基準による ソルベンシー・マージン比率※	706.2%	35.4ポイント上昇	783.9%	63.3ポイント上昇	512.5%	58.6ポイント低下

※平成24年3月期より導入される新基準に基づくソルベンシー・マージン比率

#### ■ 各社の状況

- ・ **太陽生命のソルベンシー・マージン比率**は、1,243.0%、前年度末から13.3ポイント上昇。これは主に、中間純利益・価格変動準備金の積み上げによる広義自己資本が増加するとともに、その他有価証券評価差額が増加したため。
- ・ **大同生命のソルベンシー・マージン比率**は、1,303.3%、前年度末から66.1ポイント上昇。これは主に、中間純利益・価格変動準備金の積み上げによる広義自己資本が増加するとともに、リスク削減に伴う国内外株式残高の減少等により資産運用リスクが減少したため。
- ・ **T&Dフィナンシャル生命のソルベンシー・マージン比率**は、571.5%、前年度末から39.7ポイント低下。これは主に、相場変動によりソルベンシー・マージン総額が減少したため。

<実質純資産（3社単純合算）>



(単位：億円)

	3社単純合算		太陽生命		大同生命		T&Dフィナンシャル生命	
	当第2四半期末	前年度末比較増減	当第2四半期末	前年度末比較増減	当第2四半期末	前年度末比較増減	当第2四半期末	前年度末比較増減
実質純資産	12,685	1,207 増	5,572	1,035 増	6,189	154 増	924	17 増

■ 3社単純合計

- ・ **実質純資産**は、1兆2,685億円と、前年度末から1,207億円の増加。  
これは主に、中間純利益・価格変動準備金の積み上げ、および有価証券の差損益の増加による。

■ 各社の状況

- ・ **太陽生命の実質純資産**は、5,572億円、前年度末から1,035億円の増加。  
これは主に、中間純利益・価格変動準備金の積み上げ、および有価証券の差損益の増加による。
- ・ **大同生命の実質純資産**は、6,189億円、前年度末から154億円の増加。  
これは主に、中間純利益・価格変動準備金の積み上げによる。
- ・ **T&Dフィナンシャル生命の実質純資産**は、924億円、前年度末から17億円の増加。  
これは主に、有価証券の差損益の増加による。

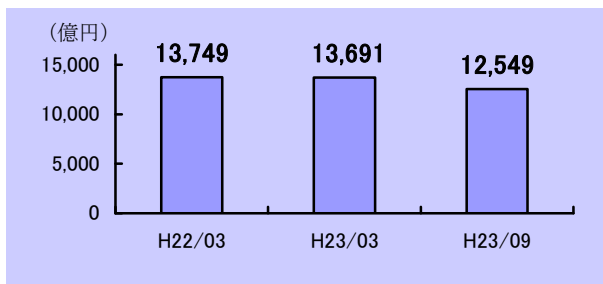
<有価証券差損益（一般勘定）>

(単位：億円)

	3社単純合算		太陽生命		大同生命		T&Dフィナンシャル生命	
	当第2四半期末	前年度末比較増減	当第2四半期末	前年度末比較増減	当第2四半期末	前年度末比較増減	当第2四半期末	前年度末比較増減
有価証券差損益(一般勘定)	3,226	1,078 増	2,312	954 増	805	66 増	108	57 増
うち公社債	2,331	1,229 増	1,404	794 増	819	376 増	107	58 増
うち株式	660	559 減	444	433 減	215	125 減	—	—
うち外国証券	322	507 増	397	573 増	△74	66 減	—	—
うちその他の証券	△229	155 減	△1	4 減	△228	149 減	0	0 減
うち金銭の信託	△7	5 減	—	—	△7	5 減	—	—
うち買入金銭債権	149	62 増	66	24 増	82	37 増	—	—
土地等の差損益	199	6 増	21	4 増	177	1 増	—	—

(注) 1. 有価証券差損益については、有価証券のうち時価のあるものを記載しております。  
2. 土地等の差損益については、原則として鑑定評価額（重要性の低い物件等については公示価格等）をもとに算出しております。

<ヨーロッパ・エンベディッド・バリュー (EEV) >



(単位：億円)

	T&D保険グループ		太陽生命		大同生命		T&Dフィナンシャル生命	
	当第2四半期末	前年度末比較増減	当第2四半期末	前年度末比較増減	当第2四半期末	前年度末比較増減	当第2四半期末	前年度末比較増減
EEV	12,549	1,141 減	4,837	68 減	7,114	936 減	598	136 減
修正純資産	9,499	885 増	4,445	703 増	4,444	170 増	609	11 増
既契約の将来価値	3,050	2,026 減	391	772 減	2,669	1,106 減	△10	147 減

	T&D保険グループ		太陽生命		大同生命		T&Dフィナンシャル生命	
	当第2四半期累計	前年同期比	当第2四半期累計	前年同期比	当第2四半期累計	前年同期比	当第2四半期累計	前年同期比
新契約価値	230	21 増	104	16 減	135	38 増	△9	1 減

■ T&D保険グループ

- ・EEVは、1兆2,549億円と、前年度末から1,141億円の減少。  
これは主に、金利が前年度末より低下したこと等により既契約の将来価値が減少したため。

■ 各社の状況

- ・太陽生命のEEVは、4,837億円、前年度末から68億円の減少。
- ・大同生命のEEVは、7,114億円、前年度末から936億円の減少。
- ・T&Dフィナンシャル生命のEEVは、598億円、前年度末から136億円の減少。

※) 詳しくは、「平成23年9月末ヨーロッパ・エンベディッド・バリューの開示について」をご参照ください。

**[平成24年3月期通期業績予想]**

平成23年5月19日に公表いたしました業績予想からの変更はありません。  
参考として、同日公表の業績予想を再掲いたします。

**○T&Dホールディングス連結**

(単位：億円)

	平成23年3月期実績	平成24年3月期予想	増減
経常収益	19,930	19,500	430 減 (2.2%減)
経常利益	949	1,130	180 増 (19.0%増)
当期純利益	238	360	121 増 (50.8%増)

1株当たり年間配当金予想は22円50銭です。(平成23年10月1日付けで当社普通株式1株を2株に分割したことに伴い、配当予想金額は45円から2分の1である22円50銭としています。)

なお、上記の前提となる生命保険会社3社(単体)の平成24年3月期の通期業績予想は次のとおりです。

(単位：億円)

	太陽生命	大同生命	T&Dフィナンシャル生命
経常収益	8,900 (297 減) (3.2%減)	9,100 (526 減) (5.5%減)	1,300 (236 増) (22.2%増)
経常利益(△損失)	570 (71 増) (14.4%増)	540 (51 増) (10.6%増)	△90 (19 減) (27.4%増)
当期純利益(△損失)	160 (34 増) (27.2%増)	200 (39 増) (24.5%増)	△70 (6 減) (10.6%増)

(注) 括弧内は平成23年3月期からの増減額・率です。

当中間期の業績を踏まえ、T&Dフィナンシャル生命において業績予想の変更を行っております。

経常収益：2,700億円→1,300億円、経常利益：0億円→△90億円、当期純利益：△0億円→△70億円

※実際の業績は、今後様々な要因によって、上記業績予想と大きく異なることがあります。

以 上



(参考) 生命保険会社3社の平成24年3月期通期見通し

(単位：億円)

	3社単純合算	太陽生命	大同生命	T&Dフィナンシャル生命
基礎利益	1,090 (12増) (1.1%増)	550 (45増) (9.1%増)	670 (48増) (7.8%増)	△130 (81減) (169.5%増)
保険料等収入	14,900 (162増) (1.1%増)	7,200 (20増) (0.3%増)	7,100 (71減) (1.0%減)	600 (213増) (55.4%増)
逆ざや額	140 (153減) (52.3%減)	40 (30減) (43.0%減)	70 (121減) (63.4%減)	30 (2減) (6.5%減)
新契約高	66,500 (3,017増) (4.8%増)	29,500 (1,367増) (4.9%増)	36,500 (1,367増) (3.9%増)	500 (282増) (130.2%増)
保有契約高	583,800 (3,391増) (0.6%増)	203,100 (10,317増) (5.4%増)	361,300 (5,298減) (1.4%減)	19,400 (1,627減) (7.7%減)
解約失効率 (%)		6.3 (-)	8.9 (0.1ポイント上昇)	3.7 (0.7ポイント低下)

- (注) 1. 括弧内は平成23年3月期からの増減額・率です。  
 2. 新契約高、保有契約高、および解約失効率は、個人保険と個人年金保険の合計です。  
 また、新契約高には転換による純増加高を含みます。

当中間期の業績を踏まえ、T&Dフィナンシャル生命において見通しの変更を行っております。

基礎利益：130億円→△130億円、保険料等収入：2,400億円→600億円、逆ざや額：20億円→30億円、  
 新契約高：2,300億円→500億円、保有契約高：21,300億円→19,400億円

※実際の業績は、今後様々な要因によって、上記見通しと大きく異なることがあります。

以上